

3期目のSSH校としての研究開発課題を「未来世代への提言を目指し、女性の科学技術人材を育成するプログラムの開発」として、創造サイエンスコース(CSコース)のみならず、創造グローバルコース(CGコース)も対象に取組を推進しています。

- プログラム1 「知」の高度化による科学的素養の育成
- プログラム2 教科横断型カリキュラムの開発
- プログラム3 グローバル科学技術人材の育成



平常授業が始まりました！～本校の特色ある授業を紹介～

探究心を育てる 科学探究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

高校CSコースの科学探究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの授業では、化学や生物、物理などの実験や、武庫川女子大学や他大学・研究所などでの実習を行い、通常授業ではできない内容を学ぶことで探究する力を身につけることを目指しています。

今年度も学校での授業がスタートし、少し距離をとりながらも、ようやく通常の実験が行えるようになりました。生徒からは「動画授業での実験もわかりやすかったのですが、久しぶりに自分でする実験は迫力が違い、楽しんでできました」との感想が聞かれました。



これはなんと表現する？～理系英語～

英語を使つての研究や発表ができるよう専門用語を学ぶために、CSコースの高校1年～3年、CGコース自然科学系の高校2・3年には理系英語という授業があります。

授業再開後、さっそく英語で説明された実験に取り組み、英語の表現を実践的に学びました。



CSコース高校2年 課題研究紹介

CSコースでは、高校入学後から3年間研究活動に取り組みます。高校1年が、自分が取り組む課題を見つける一助にと、高校2年がプレゼンテーション形式で今取り組んでいる課題研究の紹介を行いました。高校1年は、これから取り組むテーマを決め、先輩のグループに加わったり自ら新しい課題を見つけたりして、研究活動を始めていきます。



MSタイム(CGコース)も本格始動

中学1年は持続可能な開発目標(SDGs)について知るためのワークシートに取り組み、中学2年・3年は研修旅行にも関係する内容についての調べ学習や、休校中に調べた内容の発表に取り組みました。高校1年は、今後のSDGsに関する探究活動についての説明が行われました。高校2年は似た研究テーマをもつ人が集まったグループで、テーマを決める議論を行いました。高校3年は、最終的に個人で論文を仕上げられるように探究活動を進めています。



中学CSコース 1年生トマトを植えて観察中!

中学校のCSコースでは、中学1年で「自然」、中学2年で「科学技術」、中学3年で「環境」についての学習や探究活動に取り組みます。登校再開後の6月8日、中学1年は、特に作物の栽培と加工について学ぶため、トマトの苗を3つの条件に分けて植えました。これから条件ごとに比較しながら育つ様子を観察していきます。

